

厚生労働行政推進調査事業費補助金（エイズ対策政策研究事業）  
分担研究報告書  
血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者に対する外科治療の標準化に関する研究

研究分担者 今村 淳治 江面 正幸 病院長

研究要旨 前研究班にて、血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者の外科的手術を標準化する目的で「診療ガイド」が作成されたが、本研究班では「診療ガイド」を用いた標準治療実践のためブロック拠点病院での当該患者手術の施行を検討する。また、その手術成績をデータ化し NCD データと比較することで評価することを目的としている。その一環として、東北地方のブロック拠点病院である仙台医療センターで HIV/HCV 重複感染患者を対象としたデータの収集を行った。

A. 研究目的

「診療ガイド」を用いた標準治療実践を行う。

B. 研究方法

手術適応症例でのガイドを用いた標準外科手術の可否、問題点を検討する。

（倫理面への配慮）

本研究は長崎大学倫理委員会に承認を得ており、個々の症例からはインフォームドコンセントによる。

同意を書面で得る。得られたデータは全て匿名化し、情報は長崎大学 移植・消化器外科内の管理された特定部署内で管理するとともに、個々のデータの秘匿性を保持する。上記のデータは個人が特定されないように十分に配慮された状況で患者団体や厚生労働省及び関連学会の介入のもと透明性の高い研究とし報告する。

C. 研究結果

当院には現在 21 名の血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者が通院しているが、今年度は該当する外科手術に至った症例はいなかった。

D. 考察

今年度は対象となる手術症例はいなかったため、有効なデータ収集はできなかった。手術事例が発生した際は引き続きデータ

収集を行う。

E. 結論

今年度、対象事例はなかったが、引き続き周術期管理の標準化を目指し研究を進めたい。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

特記事項なし。